

# タイトル『汐製菓会社の新作「フィナンシェ」』

## 登場人物

- ・ 汐（30代）…汐製菓会社社長。「面白きことも無き世を面白く」をモットーに奇想天外な菓子商品を発案する。快活な性格で、自分のアイデアに自信を持っている。
- ・ 塩田（30代）…汐の秘書の女性。真面目で心配性な性格。汐の発想にいつも振り回されるが、実は大のお菓子好きで、そのために製菓会社に就職した。

## あらすじ

汐製菓会社社長・汐は、新商品の開発を考えていた。新商品として『フィナンシェ』の『青汁味』を作ろうと考える。果たして、国内外の人々にウケるのか！？ 実際の試食会や試

作の過程で、さまざまなりアクションやアイデアが飛び交う。

---

### シーン二：オフィスー汐の発案(9分)

(汐製菓のオフィス。明るい雰囲気の中、汐がデスクに向かい、熱心に考え込んでいる。塩田が横で書類を整理している)

汐(興奮気味に)：「塩田、次の新商品はフィナンシェの『青汁味』にしようと思うんだ！」

塩田(驚き)：「えっ、青汁ですか？健康志向の時代だからって…本当にそれがウケるんですか？」

汐(力強く)：「面白きことも無き世を面白くするのが我々の使命だ！試してみる価値はあるよ！」

塩田（ため息をつく）：「社長の発想は毎回  
大胆すぎて、心配です…」

汐（笑顔で）：「心配しないで！青汁がフィナ  
ンシエの新しいトレンドになるかもしれない！」

---

## シーン2：試作 - キッチンの混乱（10 分）

（試作キッチンに場面が切り替わる。社員た  
ちが集まり、青汁フィナンシエの試作に取り組  
んでいる）

社員A（材料を用意しながら）：「青汁をど  
れくらい入れますか？これ以上入れると味が  
変わりそうです。」

社員B（慎重に測りながら）：「うーん、甘さ  
とバランスが難しいですね。」

（汐が元気よく入り込む）

汐：「みんな、もつと自信を持とう！冒険が大  
事だ！さあ、青汁をドバツと入れちゃおう！」

社員の（戸惑いながら）：「社長、本当にそれ  
で大丈夫ですか？」

汐（にっこり）：「失敗したら、またそれが次の  
アイデアに繋がるんだから！」

社員A（不安そうに）：「でも、青汁が苦いと  
どうなるんですか？」

汐：「苦いのが嫌なら、甘さでカバーしよう！  
みんなで試行錯誤して、最高のフィナンシェを  
作ろう！」

---

シーン⑥：完成試作 | お菓子の味見（10  
分）

（青汁フィナンシェが完成し、社員たちが一口  
ずつ食べてみる）

社員A「一口食べて、目を丸くする」：「え、これ意外と美味しい！」

社員B（興味津々）：「ほんとだ、青汁の味が思ったよりマイルドに感じる。ちょっと和風な感じもするし！」

（しかし、社員のは恐る恐る食べて）

社員C：「いや、やっぱり青汁の味が残る……。ちょっと癖がありますね。」

（汐が満足そうに頷く）

汐：「そうだ、みんなの反応を見て、次のステップに進もう！」

社員D（思案顔で）：「でも、やっぱり青汁のインパクトは強いですから、マーケティングがカギかも。」

---

シーン4：新作試食会の準備（10分）

（試食会の準備が進む中、塩田が不安そうに汐に話しかける）

塩田：「社長、これ、本当にお客さんが受け入れてくれると思いますか？青汁味のフィナンシエ…。」

汐（自信満々に）：「絶対に受け入れられる！新しい挑戦が必要なんだ！」

塩田（心配そうに）：「でも、青汁のイメージが強いから…お客さんが戸惑うかもしれませんよ。」

汐：「心配無用！私たちの情熱が伝われば、必ず受け入れられる！」

（社員たちが会場の設営を行い、汐が全体を見回してニヤリと笑う）

汐：「みんな、準備はいいか？我々の新たな挑戦が始まるぞ！」

## シーン5：試食会の当日（15分）

（試食会当日。会場は賑やかで、メディアやお客さんが集まっている。汐と塩田が壇上に上がる）

汐：「皆さん、こんにちは！今日は我が社の新作フィナンシエをご紹介します。まずは青汁味からどうぞ！」

（お客さんたちが一口食べると、反応が様々に分かれる）

お客さんA（目を輝かせて）：「美味しい！青汁の味が控えめで、フィナンシエとして成立している！」

お客さんB（眉をひそめて）：「でも、青汁の独特な風味はやっぱり気になる…！」

（塩田が不安そうに見守る）

塩田（心の声）：「果たして、これが本当に受け入れられるのか…。」

（次に、汐が新たな提案をする）

汐：「次は納豆フィナンシエの試食です！」

（会場が一瞬静まり返る）

お客さんの（半信半疑で）：「納豆…お菓子としてどうなの？」

---

シーン⑨：納豆フィナンシエの試食（10分）

（お客さんたちが恐る恐る納豆フィナンシエを口にする）

お客さん（驚いた様子で）：「うわ、これ本当に納豆の味がする…！」

（他のお客さんたちも反応が分かれる）



お客さん☹(笑いながら)：「でも、意外と美味しいかも！納豆の風味が新しい！」

お客さん☹(戸惑いながら)：「納豆って、こんな風に使えるんだ…！」

(メディアの記者も興味を持ち始める)

記者：「この斬新さ、記事にしてみようかな。納豆フィナンシエの人気、期待できそうですね。」

(汐と塩田が嬉しそうに視線を交わす)

---

シーン①：マーケティング戦略の立案(10分)

(試食会の後、汐製菓のオフィスに戻り、社員たちがマーケティング戦略を立てる)

汐：「さて、次はこのフィナンシエをどうやって広めるかだ！」

社員 A：「SNS キャンペーンは絶対に必要ですね！『挑戦するお菓子』をアピールしましょう。」

社員 B：「青汁や納豆の健康効果を強調するのでもいいかもしれません。」

塩田（心配そうに）：「でも、あまり健康を前面に出すと、逆に敬遠されるかも…」

汐（ニヤリ）：「そこで、面白いキャッチコピーが必要だ！『おいしい挑戦、あなたも試してみて！』なんてどうだ？」

社員たち（笑いながら）：「いいですね、それならチャレンジ精神を感じます！」

---

シーン 8：お客さんのリアクション（5分）

（様々なお客さんの反応を集めた映像が流れる。異なる世代や国籍のお客さんたちがフイナンシエを食べている）

お客さんの（外国人、興味深そうに）…「これが日本のスイーツか！青汁の味は…ユニークだ！」

お客さんエ（子供）…「青汁は嫌だけど、これ美味しい！」

お客さんニ（お年寄り）…「懐かしい味がする。健康にも良さそうだし、いいかもね。」

（汐と塩田がその様子を見守りながら微笑む）

---

## シーン6：社内の成果発表（5分）

（再びオフィスに戻り、社員たちが成功を祝う様子）

社員の（嬉しそうに）：「私たちの新作、SNS  
でバズってるみたいです！」

塩田（驚き）：「本当に！？それなら、全国展  
開も夢じゃないですね！」

汐（ニヤリとしながら）：「さあ、次は海外進  
出だ！フィナンシエで世界を驚かせるぞ！」

社員たち（一斉に）：「おおー！」

---

## エピソード（5分）

（汐製菓のロゴが映し出される。汐と塩田が  
仲間たちと共に笑顔でピースサインを決めて  
いる）

汐：「さあ、次なる挑戦に向かって進もう！皆  
で力を合わせて、新しいお菓子文化を築いて  
いくぞ！」

塩田（明るく）：「はい、社長！私ももっとアイデアを出していきます！」

（カメラが引き、明るい音楽と共に汐製菓の成長を示す映像が流れる）

ナレーション（優しい声で）：「汐製菓は、これからも新しい挑戦を続けます。皆さんの応援をよろしく願います！」

（画面がフェードアウトし、エンディングが流れる）